

### 赤や黄色の色さまざまに

#### ◆ もみじまつり

もみじまつりが、11月17日から12月2日まで、石橋文化センターで開かれました。見頃を迎えた11月下旬、木々が鮮やかに色づき、訪れた人を楽しませていました。

夫婦で園内を散策していた角倉正男さん（北野町）は、「いつもは美術館の付近しか歩かないけど、紅葉を見に園の奥まで来てみました。こんなにきれいだとは思っていませんでした」と話していました。



カエデやケヤキなど多くの木々が紅葉する園内



大ぶりのサンふじと王林が児童の代表に手渡されました

### 青森から甘い贈り物 ◆小学生にりんごを寄贈

12月4日、津軽みらい農業協同組合（青森県）から市内の小学校にりんご約9800個が贈られました。

本庁舎で行われた寄贈式で、児童を代表してりんごを受け取った青木優詞さん（鳥飼小・6年）は、「りんごが大好きです。今日は僕が皮をむいて、家族みんなで食べようと思います」と感謝の気持ちを伝えました。

### 宗隊員が3年間を語る

#### ◆ 地域おこし協力隊活動報告会

11月28日、地域おこし協力隊員を3年間務めた宗司さんの活動報告会が開かれました。

フリーライターから転身し、平成27年12月から城島町で活動を開始。特産品の通販サイトや、地域交流力フェスの開設など、地域活性化に取り組んだ宗さん。報告会では、約100人を前に「まちづくりには正解が無い。だからこそ自由にクリエイティブに取り組めた」と話しました。



今後も城島町でまちづくりに関わっていききたいと話す宗さん

### 歌って楽しむ絵本ライブ開催

#### ◆ さいとうしのぶ講演会

11月25日、中央図書館の開館40周年を記念して、絵本作家・さいとうしのぶさんの講演会が石橋文化センターで行われました。

歌や手遊びを交えた講演で、家族連れなど約110人が参加。講演後のワークショップでは、子どもたちに手作り絵本の制作を指導しました。廣津弘平ちゃん（花畑・年中）は、「自分だけの絵本が作れてとても楽しかった」と笑顔を見せました。



良く描けるねと語り掛け、絵本作りのアドバイスをするさいとうさん（右）

### 市政の動き

### 久留米愛を熱弁 パンチ佐藤さん ふるさと大使に就任



11月23日、元プロ野球選手でタレントのパンチ佐藤さんが、くるめふるさと大使に就任しました。パンチ佐藤さんは、FBS福岡放送の番組「頑張るキミに花束を！」で、久留米を応援したいという思いを熱くPR。ふるさと大使に立候補しました。その熱意を受けて大久保勉市長が大使就任を決定。同番組にサプライズで登場し、委嘱状を手渡しました。

「久留米をどんとアピール



番組内で大久保市長（左）から委嘱状を受け取るパンチ佐藤さん

### カザフスタン 久留米で強化合宿

カザフスタン共和国が、東京2020オリンピック・パラリンピックの強化合宿を久留米で行います。

11月22日、同国柔道連盟が大久保勉市長を表敬訪問した際に、同国オリンピック委員会事務局長の親書を持参。種目は柔道やレスリング、卓球などの8競技で、来年6月から11月までの2週間を想定しています。大久保勉市長は、「市を挙げて、しっかりと支援したい」と話しました。

◎体育スポーツ課（☎0942・30・9226、FAX0942・38・2559）



大久保市長を表敬訪問した、カザフスタン柔道連盟の皆さん

### 2000人が集結 暴力団壊滅を誓う



12月1日、東町公園で暴力団壊滅市民総決起大会が開かれ、市民など約2000人が参加しました。

大久保勉市長はあいさつで、「オール久留米でスクラムを組み、安全安心のまちづくりに力を入れる」と決意を表明。地域社会全体で暴力追放に取り組むという大会決議文を採択した後、暴力団の壊滅を誓って全員でシュプレヒコールを上げました。

◎安全安心推進課（☎0942・30・9094、FAX0942・30・9706）

大会の最後に、会場全体が一体となって氣勢を上げました